

大館の歴史散歩

近代化と
その遺産⑨

大館の花柳街

近代化の興隆と共に

町が築かれ経済が発展すると、遊び場が形成され人々の遊興の場ができる。そこは、景気の浮き沈みとともににぎわい、また衰退する。

富亭(後北秋俱楽部)などが軒を並べていた。町は新富町と名付けられ、町名のとおり町は一層にぎわいを増した。

大館にもそういう社交の場として、今でも通称新開地の名で呼ばれる所がある。初めにぎわったのは、馬市がたち馬喰衆相手にした宿屋のあつた馬喰町立第二尋常中学校(現鳳鳴高校)が創立されることになり、通学路にあることから強制的に移転が行われた。移転先は、明治二十一年に新国道となつた片山新道の裏側であった。町の入り口には黒門が建てられ、桜並木の両側に加賀谷楼、宮崎楼、新

大正八年五月の大火を契機に移転問題が持ち上がり、料亭が焼失を免れたため遅々として進まなかつたが、新富町とは地続きの指定地へ移つた。移転地は、道路をはさんで新開地と呼ばれ花本、吉野屋などの料亭が軒を並べ花柳街として新富町と共ににぎわつた。



往時をしのばせる料亭

大館の花柳界で芸者さんを抱えたのは、大正初めころの北秋俱楽部が最初といわれている。内芸者さんといわれ、料亭の主人が東京や京都から芸事の師匠を呼び、習わせた。芸事の発表の場として、年に数回の温習会が弁天町の大館座などで開かれた。大正から昭和初期にかけての木材景気、鉱山景気のころには花柳界も大いににぎわい、四日、五日と金を使い果たすまで居続けて遊ぶ人もいたという。このころの宴会費は、一人一円五十銭が相場であった。昭和九年九月の大火で、北秋

俱楽部を残し料亭二十数件が焼失したが、迎陽亭、花本、多美家、濱家など復興は早かつた。戦時中は国策により料亭等の転廃業が実施され、芸者さんたちは職を失つた。終戦後再開されにぎわいは戻つたが、戦後の急激な経済変化による木材、鉱山業などの不況により、再び衰退していった。

現在、華やかだった往時の姿を見ることはできないが、新富町と新開地という名と共に、盛衰を見続けた桜並木が今も残り、桜の季節には多くの市民がここを訪れている。

〔参考文献〕
「秋田県遊里史」「河北新報」

市役所史跡探訪会

- ▽問題
①トムトムの里温水プール。水温は約何度?
②大館能代空港の滑走路は何メートル?

③市で3つ目のデイサ

- ービスセンターの名前は?
④パイプスモーキングの大会で使うたばこの量は何グラム?

- ⑤県立第二尋常中学校が創立されたのは明治何年?

- ▽11月16日号の答え
①479t ②274人
③秋田桂城短期大学
④11月28日 ⑤500円
⑥古川淳史さん(天下町)
・佐藤タマさん(花岡町)
・木村トミ子さん(南ヶ丘)

- ・愛川真由美さん(有浦5丁目)
・小沼剛さん(清水5丁目)
※応募総数104 全問正解98

- ▽締め切り
12月27日(月) 当日消印有効
△応募先
〒017 大館市字中城20番地
広報おおだてクイズ係
人に、秋田犬のオリジナルテレホンカードを贈ります

クイズ広報 おおだてがヒント

私の本棚

中央図書館新着図書

『アメリカ手話留学記』

高村真理子著 こみち 径書房

高度難聴の著者は、ある日カリフォルニアに聴覚障害者が学べる大学があることを知った。

世界中から集まった聴覚障害者との交流と学校生活をつづり、一人の人間として、自立した生き方を教える。

☆良寛事典(加藤信一)☆デンバーの青い闇(青木富貴子)☆アトポス(島田荘司)☆風鳥(清水邦夫)☆丁半国境(西木正明)☆六つのひき出し(向田邦子)☆冬のオペラ(北村薰)☆音楽曲鑑賞辞典(中河原理編)☆ガラス器を楽しむ(講談社)☆淋しい狩人(宮部みゆき)ほか

☆森のネズミのたんじょう会(岡野薰子)☆ラー・ジャのカレー(国松エリカ)☆なぞのイースター島(大原興三郎)ほか

12月のテーマ関連図書コーナー

「レクイエム'93」

親子読みきかせ会

毎月第1金曜日 午後2時30分から

中央図書館の休館日 12月19、23、24日

12月28日～1月4日。1月15、16日